



2022 年度 第 4 回協議会

【日時】 2022 年 10 月 20 日（木） 10:30 から 15:30

【場所】 Teams によるオンライン開催

【内容】

- ・ 10:30 - 12:00: DhaibaWorks 講習会
 - 演題: 「質問への回答」
 - 演者: 丸山 翼
 - 演題: 「DhaibaWorks の基本操作」
 - 演者: 遠藤 維
(産業技術総合研究所 人工知能研究センター)

- ・ 12:00 - 13:00: 休憩

- ・ 13:00 - 14:00: DhaibaWorks 講習会
 - 演題: 「DhaibaWorks を用いた体型と姿勢の生成, 運動の解析」
 - 演者: 遠藤 維

- ・ 14:00 - 14:20: 研究発表
 - 演者: 松浦 詩乃様 (広島大学)
 - 演題: 運動計測に基づく身体指標とFIM値の関係の考察
 - 概要: リハビリの効果判定には日常生活動作の介助量を評価するFIMが用いられる。しかしこの手法には評価項目が多く、評価者の主観に左右されるという問題点がある。そこで客観的な基準で簡単に実施できる新しいリハビリテーション評価システムがあれば、有用である。本研究では、リハビリ効果を客観的に評価するべく、簡単な運動測定実験を行い、データ解析により得られた指標とFIMスコアとの関係について考察した。



デジタルヒューマン技術協議会

- ・ 14:20 - 14:40: 研究発表
 - 演者: 松村 建杜様 (大阪公立大学)
 - 演題: 立ち乗り式PMVに乗車した高齢者の動特性の基礎検討
 - 概要: 背景として、パーソナルモビリティビークルは高齢者の新しい移動手段として注目を浴びているにも関わらず、高齢者の実験データがないため動特性がわからず、最適な設計方法がわからないということがある。そこで、若者と高齢者で比較実験を行い、その動特性を明らかにすることを目的として実験を行った。COGと関節モーメントで評価を行ったところ、高齢者は若者と比べて上半身よりも下半身に力が入っていることがわかった。今後は年代別に関節モーメントの違いを見ていきたい。

- ・ 14:40 - 15:00: 研究発表
 - 演者: 津村 遼介 (産業技術総合研究所 健康医工学研究部門)
 - 演題: 聴診の自動化を目指した体表上の聴取位置推定手法の構築
 - 概要: 本研究では、従来医師が手で行なっている聴診を、ロボットによって聴診器を当てるところから音の良し悪しを聞き分けるところまで一貫して自動で行うことを目指している。聴診の自動化にあたり、まず患者の体表を見て、どこに聴診器を当てるかをロボット自体が認識・推定する必要がある。本発表では聴取位置の推定手法の構築に先立ち、デジタルヒューマンを活用した予備的検討を行なったので報告する。

- ・ 15:00 - 15:10: 休憩

- ・ 15:10 - 15:30: 運営委員会

Teams へ入る際は「所属・名前」の設定をお願いします

運営委員会に参加できるのは法人会員のみです

〒135-0064 東京都江東区青海 2-3-26

産業技術総合研究所 人工知能研究センター デジタルヒューマン研究チーム内